

株式テクニカル分析講座【入門編】

Q&A 集

株式テクニカル分析講座【入門編】Q&A 集

目次

Q 1	市場別のテクニカル分析の有効性について	1
Q 2	モメンタムとは？	1
Q 3	指数の計算式	1
Q 4	オシレーター系の意味	1
Q 5	逆張りとは？	2
Q 6	シカゴ 225 先物とは？	2
Q 7	ドルが買われるとはどういうことですか？	2
Q 8	時間外取引の価格と立会い相場の終値について	3
Q 9	日米欧の時間外取引について	3
Q 10	板について教えてください	4
Q 11	信用残について教えてください	6
Q 12	長期保有の株式を売る場合	9
Q 13	売買サインの優先順位を教えてください	9
Q 14	「マクロ分析」とは？	10
Q 15	効率的市場論について	10
Q 16	ケインズの美人投票	10
Q 17	月足・週足の場合のローソク足について	11
Q 18	ダマシの発見の仕方	11
Q 19	ローソク足について	11
Q 20	ダマシの言葉の使い方	12
Q 21	トンボとカラカサ	12
Q 22	ローソク足の長さの決まりについて	12
Q 23	ローソク足のヒゲの長さについて	13
Q 24	ローソク足の組み合わせについて	13
Q 25	切り込み線	14
Q 26	大陰線、抱き線、はらみ線	14
Q 27	俗称の由来	14
Q 28	「直前の相対安値（高値）」と「直前の相対安値（高値）」の違い	15
Q 29	中段持ち合いのパターンについて	15
Q 30	上昇ウェッジ	15
Q 31	パターン認識	16
Q 32	転換点保ち合いについて	16
Q 33	移動平均線の算出方法	16
Q 34	移動平均線、短期・長期線の比率について	17
Q 35	グランビルの投資法則	17
Q 36	ゴールデン・クロス、デッド・クロス	17
Q 37	移動平均線の日数について	17
Q 38	乖離度について	18
Q 39	乖離率・乖離度について	19

Q40	乖離率と乖離度の違い	19
Q41	パラボリック・タイム・プライス、SARについて	19
Q42	パラボリック活用のポイントは？	20
Q43	途転の売買の意味	20
Q44	SARのサインの見方と計算方法	20
Q45	パラボリックの加速因子	21
Q46	パラボリックの表の見方	21
Q47	ボリンジャーバンド	22
Q48	ボリンジャーバンドの計算方法	23
Q49	MACDの動きとトレンド転換	23
Q50	MACDシグナルの計算方法	23
Q51	MACDについて	24
Q52	一目均衡表について	25
Q53	一目均衡表のN値	26
Q54	一目均衡表の週足と日足の違い	26
Q55	先行スパン1と2の上下の違いは？	26
Q56	先行スパン2について	26
Q57	転換値の求め方	27
Q58	転換線と基準線の交差について	27
Q59	基準線の変化について	27
Q60	一目均衡表での「好転」「逆転」と雲の位置関係について	28
Q61	一目均衡表の雲の厚さについて	28
Q62	遅行スパンについて	28
Q63	三役好転と三役逆転の条件について	29
Q64	時間論：基本数値の使い方	30
Q65	時間論について	30
Q66	テキスト85ページ日本郵船について	30
Q67	水準論：4つの計算値	31
Q68	フィボナッチ級数と黄金比について	31
Q69	ボリューム・レシオについて	33
Q70	「ダマシ」について（2）	33
Q71	逆ウォッチ曲線：ルックについて	34

ディスクレーマー（受講に際してのお断り）

本Q&A集は、シグマベイスキャピタル株式会社の提供する株式テクニカル分析講座用であり、有償、無償を問わず他人への譲渡、複製を禁じます。また、本Q&A集に掲載されている資料、情報、データなどの著作物の著作権および使用権はその著作者ないし弊社に帰属します。無断転載はお断りいたします。

本Q&A集上の資料、情報、データなどの内容に関しては万全を期しておりますが、その内容の正確性および安全性を保障するものではありません。また、過失その他の理由により本資料に含まれるかもしれないいかなる誤りについても、また理由の如何を問わず本テキストの全部または一部に依拠した者が被った如何なる損失についても、一切の責任を負わないことをご了承ください。

シグマベイスキャピタル株式会社

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

茅場町一丁目平和ビル1F

電話番号 03-3665-8193

E-mail sis@sigmabase.co.jp

Q31 パターン認識

Question

テキスト 38 ページに中段保ち合いの目標値を算出する方法が書いてありますが、その他のパターン、例えば三角形型、ペナント型、フラッグ型、ウェッジ型等々の場合は、目標値は算出できるのですか？

Answer

三角形型、ペナント型などで特有の目標値の算出方法というものはありませんが、この後で習う計算値を利用することで色々なチャート形状でも目標値の算出が可能となります。

なお、一目均衡表の水準論 (93~97 ページ) ではN計算値、E計算値、V計算値、NT計算値の4つの計算値を習います。

Q32 転換点保ち合いについて

Question

三空、三山、首吊り天井とはどのようなものでしょうか、教えてください。

Answer

空とは、窓とも言われており、上(下)放れた場合に前日の高値(安値)と当日の安値(高値)との間にできた空間のことをさします。

三空とは、この空が三回以上連続で出現することをいいます。短期的には過熱感から調整局面を迎えることもありますが、中長期的には空間を空けた方向に相場が向かうことも多いです。

三山とは、“トリプル・トップ”や“ヘッド・アンド・ショルダーズ・トップ”、そのほか“三尊天井”などとも言われるものです。

これらのチャート形状に関してはテキストの 39 ページからの“転換点保ち合い”の項目で説明しております。ひとことで言えば、三山の出現は相場の天井を示すことが多いということです。

首吊り天井とは、首吊り線 (テキスト内では下影陰線や下影陽線、俗称：カラカサとして表示) が出現した後に下落に転じた状態をさします。

なお、首吊り線とは中長期の上昇後に、なお上放れて寄り付いたものの、買い方の利食い売りなどで一旦調整するが、または押し目買いで反発することで出現するローソク足です。形状はテキストを参照してください。

同線の出現は高値波乱期に突入したサインとなりやすいものの、いったん下げ始めると相場は意外にもろいものとなります。このことから、首吊り線で天井を形成するケースが多いのです。

Q33 移動平均線の算出方法

Question

日数移動平均線の取引日の日数は多々変動しますが、週は週内で、月内は月ごとに平均を集計しチャートにまとめているのですか？

Answer

そうです。週足なら週内で集計して、現時点の形状をチャート上に反映させます。

Q34 移動平均線、短期・長期線の比率について

Question

(5日・25日) (25日・75日) (13週・26週) (26週・52週) といった移動平均線が良く使われているみたいですが、何か決まった比率のようなものが有るのでしょうか？

Answer

5日は1週間、25日は1ヶ月で、この両ラインの関係が短期トレンドを判定する際に一般的に使われます。

同様に、25日、75日は1ヶ月と3ヶ月といった認識です。

決まっているわけではなく、それぞれの組み合わせで使われることが多いことから定番化したといった方がしっくりくるかと思います。

Q35 グランビルの投資法則

Question

テキスト 46 ページのグランビルの投資法則ですが、200日移動平均線での説明と但し書きがありますが、短期線（たとえば5日、25日線）とか週足で用いられる13週線とかにもこの法則を当てはめてもよいのでしょうか。

Answer

グランビルが200日移動平均線を重要視していたことであり、基本的には他の移動平均線で当てはめて判断しても構わないでしょう。

ただ、比較的長い期間での移動平均線を利用した場合の方がこの法則のサインは確認しやすいと思います。

Q36 ゴールデン・クロス、デッド・クロス

Question

テキスト 47 ページのゴールデン・クロス出現における長期移動平均線の方向ですが、どの方向においても強気と考えるのでしょうか。

また、そのときの株価位置（移動平均の上か下か）との関係はどうでしょうか。同様にデッド・クロスもどうでしょうか。

Answer

“ゴールデン・クロス”及び、“デッド・クロス”の示現はそれ自体に意味があるため、移動平均線の方向はどの方向においても強気や弱気と考えます。

また、株価位置と移動平均線との関係は関係ないとは言い切れませんが、それ程気にしなくても構いません。

Q37 移動平均線の日数について

Question

テキスト 49 ページに「移動平均線の使い方」というコーヒーブレイクがありますが、一体どの組み合わせが一番良いのでしょうか？